

## 令和 8 年度 国の施策及び予算に関する要望について

特別区長会は、令和 8 年度国の予算編成に向けて、厚生労働省に対し要望活動を行いましたので、お知らせします。

### 1. 日時

令和 7 年 9 月 4 日（木） 14 時 30 分～14 時 45 分

### 2. 要望先及び応対者

（1）厚生労働省 仁木 博文 厚生労働副大臣

### 3. 要望者

特別区長会 会 長 吉住 健一（新宿区長）

副会長 斉藤 猛 （江戸川区長）

### 4. 要望内容 別添参照

「令和 8 年度 国の施策及び予算に関する要望事項一覧」

「令和 8 年度 国の施策及び予算に関する要望書」



厚生労働省 仁木副大臣に要望書を提出

○ 特別区長会

東京 23 区長で構成する任意団体。

特別区に共通する課題についての連絡調整及び調査研究、特別区の自治の発展を図るために必要な施策の立案及び推進などの活動を行っている。

会 長：吉住 健一（新宿区長）

事務局：特別区長会事務局

（千代田区飯田橋 3－5－1 東京区政会館 19 階）

※ なお、特別区は平成 13 年 6 月から全国市長会に加入している。

<問い合わせ先>

特別区長会事務局

調査第 1 課長 神田 浩孝

電話 5210－9737（直通）

## 要望の概要

要望内容は、各区から提出された項目をもとに、区長会で決定されたものであり、省庁に対し重点的な取組を要請した。

## 厚生労働省

(会長発言要旨)

### ○ 医療保険制度の充実

- ・ 国民皆保険の基盤となる国民健康保険制度は、被保険者に占める高齢者や低所得者の割合が大きい構造の中、更なる高齢化の進展に伴う医療費の増などによる保険料の上昇、社会保険適用拡大による被保険者の減少など、全国的に大変厳しい運営を強いられている。
- ・ とりわけ、特別区では、大都市特有の事情として、転出入率が高いことなどにより、保険料徴収に関して非常に厳しい環境下に置かれるなど、保険者の努力だけでは解決し得ない様々な問題を抱えている。
- ・ 本制度を安定的かつ持続的に運営できるよう、国庫負担の充実により国保財政基盤を強化するとともに、低所得者層に対する一層の保険料負担軽減を図り、さらなる財政支援をお願いする。
- ・ また、本制度を国民皆保険の基盤として将来に渡り持続可能なものにしていくため、財政支援に留まらず、構造的課題の解決に向け、医療保険制度の一本化等、国の責任において抜本的な見直しを要請する。

### ○ 予防接種の充実

- ・ 予防接種は、国民の生命と健康を守る重要な事業であり、特に次世代を担う子どもたちを感染症から守り、健やかな成長を支えるためにも、自治体や個人の財政状況、経済状況による格差なく、継続的かつ安定的に実施されるべきである。
- ・ 予防接種法に定められる定期予防接種の種類が年々増えるなか、これに要する財源は、地方交付税を措置されていない特別区では、すべて持ち出しとなっている。
- ・ このことを鑑み、定期予防接種に係る費用については、全額国庫負担で措置されることを要請する。

(厚生労働省 仁木副大臣発言要旨)

要望は承った。

- ・ 医療保険制度の一本化については、これまでの経緯もあるため、一筋縄ではいかないと考えるが、現場を担っている特別区からの貴重なご提言として、受け止めたい。
- ・ 予防接種の充実に向けた特別区への財源措置に関しては、地方交付税措置も含めた国庫負担の在り方について、全国的な議論が必要ではないかと考えている。